

神業を聴かせる、輝かしいピアニスト

Neue Zürcher 紙



Photography by Jen-Pin©

Konstantin Scherbakov, Piano コンスタンチン・シェルバコフ (ピアノ)

“音楽の百科事典”ナクソスレーベルの超絶技巧作品御用達ピアニスト
彼しか録音していない作品を含め、40枚以上のCDをリリース
2010年のショパンコンクール優勝者、アヴェデーヴァの師匠

1963年ロシア・シベリア地方のバルナウル生まれ。11歳でベートーヴェンの《ピアノ協奏曲第1番》を演奏してデビューを果たす。後に伝説的な存在となった音楽教師レフ・ナウモフに師事すべくモスクワ・チャイコフスキー音楽院に移る。モンテリオール、ボルツァーノ、ローマ、チューリッヒの国際コンクールで入賞、旧ソ連のすべての主要オーケストラと共演を果たし、100以上の都市でリサイタルを行った。

1983年にモスクワで行われた第1回ラフマニノフ・コンクールで優勝し、その後のルツェルン音楽祭での演奏は「現代のラフマニノフ」との賞賛を得る。1990年には、イタリアの第20回アゾーロ室内楽フェスティバルで、シェルバコフの演奏を聴いたスヴァトスラフ・リヒテルが絶賛。4回にわたるラフマニノフのピアノ独奏作品全曲リサイタルを行い、国際的なキャリアを確実なものとした。

1992年からはスイスに居を移し、世界中のオーケストラとの共演やリサイタル・ツアー、ヨーロッパ全土放映、放送公演と幅広く活動。さらにザルツブルク、フランクフルト、ルガーノなどの著名音楽祭や、ピアノに特化したルール・ピアノ・フェスティバル、フーズム城ピアノ音楽祭、ワイマールのリスト・フェスティバル、ルツェルン・ピアノフェスティバルなどに招聘されている。

シェルバコフのレパートリは驚異的で、50曲の協奏曲と50通りのリサイタル・プログラムが用意されている。録音はバッハ、ベートーヴェン、スクリャーピン、メトネル、レスピーギなどの作品を取りあげている。現在は、マルコ・ポーロ(ナクソスの姉妹レーベル)において超絶技巧作品で知られるレオポルド・ゴドフスキーのピアノ曲全集に取り組んでいる。

ナクソスのリスト・ピアノ音楽シリーズにおいて、リストが編曲したベートーヴェンの交響曲全曲をリリース。とりわけ《第九交響曲》は2005年ドイツ批評家賞を受賞した。同様に、ゴドフスキー作曲《ピアノソナタホ短調》の録音に対しても2001年にドイツ批評家賞が贈られている。彼の演奏によるショスタコーヴィチの《24の前奏曲とフーガ》でも、ナクソスはカンヌのクラシック・アワード2001を受賞した。

1998年以来、チューリヒ芸術大学教授。ボルツァーノのブゾーニ国際コンクール、ARD ミュンヘン国際コンクール、およびワイマールのフランツ・リスト国際ピアノコンクールなど、国際ピアノコンクールで審査員を務める。

宗次ホールへの情報はこちら！
フォローお待ちしております

♪ 随時
更新中ですよ

facebook

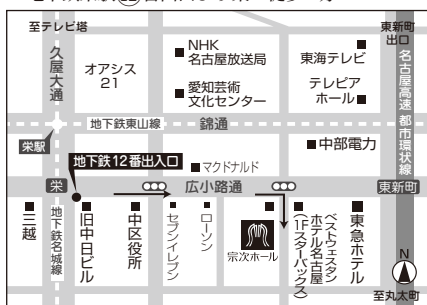


<https://www.facebook.com/munetsuguhall/>



他にも各SNSにて情報発信中！

■交通アクセス
地下鉄栄駅⑫番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック

宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター

営業時間:10:00~16:00

※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業